

SPARView Vol 22, No.31 August 10, 2024

 **GEO WEEK NEWS****3D Technology Newsletter****プレッシャーの下での精度:オリンピックの隠れた審判**Precision Under Pressure: The Olympics' Hidden Judges

パリオリンピックのトータルステーションは、ワールドワイドオリンピックパートナーのオメガに代わって運営されている。

審判は、目立たないようにしながら、長期間にわたって揺るぎない集中力を維持しなければなら。つまり、距離の測定値をほぼ自動的に計算するツールがあるということは、ルールの審判により集中できるということである。

**リアリティキャプチャに変化と標準化を**The Committee Wants to Bring Change and Standardization to Reality Capture

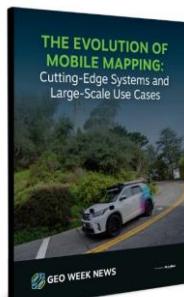
毎年2月にコロラドコンベンションセンターで開催される過去2回の Geo Week カンファレンスでは、米国建築研究所(USIBD)の専門家によるカンファレンスセッションを開催し、市場で入手可能なさまざまなレーザースキャナーの結果を比較・発表している。このセッションの目標は、利用可能なスキャナーの中から「勝者」を宣言することではなく、さまざまな条件下で結果を比較し、これらの結果をどのようにテストするか、さまざまなユースケースや環境に最適な機能のベースラインを設定することである。

**Luminar : 自動車メーカー向けソフトウェアキット発売**Luminar Launches Software Kit for Carmakers

自動車メーカーが消費者向け量産車に次世代の安全性と自律機能を実装するためのツールキットを提供します。安全性評価、乗車感覚、3Dマッピング、シミュレーション、ダイナミック LiDAR の機能。

**モバイルマッピング : 最先端システムと大規模ユースケース**The Evolution of Mobile Mapping: Cutting-Edge Systems and Large-Scale Use Cases

- ・イノベーションがハードウェアの合理化に
- ・AI が処理の進歩を促進する方法
- ・SLAMが道を切り開く方法
- ・イノベーションを推進するユースケース
- ・ウェアラブル、ハンドヘルド、そして未来



## Commercial UAV Expo ベストプラクティス集結

### Commercial UAV Expo Will Highlight Best Practices and Use Cases For Surveyors and AEC Professionals

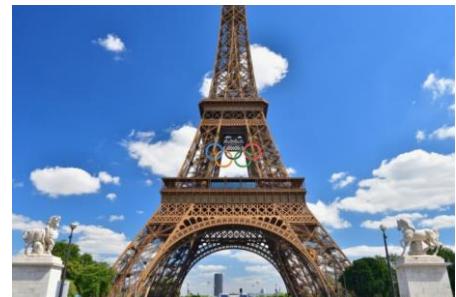
ドローンは、測量、AEC、リアリティキャプチャの3つの領域に、深く関わっている。革新が続いている。



### パリオリンピック、写真測量、建設スキャン

### Around the 3D Technology Industry: Paris Olympics, Photogrammetry, Construction Scanning

- NBC スポーツは、パリの夏季オリンピックの放送報道にセシウムを使用
- クラウドコンピューティングがフォトグラメトリサービスを後押し
- 建設業界向けのレーザースキャニング技術の最新トレンド



### 3D テクノロジー業界からのニュース •

#### オートデスク」オリンピック・パラリンピック競技大会の公式デザイン&メイクプラットフォームに選出 •

- [Autodesk named as Official Design and Make Platform of the LA28 Olympic and Paralympic Games](#)

#### セシウムムーンテレインが利用可能に •

- [Cesium Moon Terrain now Available](#)

#### GPRS が AEC リアリティキャプチャサービスを拡大するための既存条件を取得 •

- [GPRS Acquires Existing Conditions to Expand AEC Reality Capture Services](#)

#### GeoCue、TrueView GO を発表 – 高度なハンドヘルドマッピングでポートフォリオを拡大 •

- [GeoCue Launches TrueView GO – Expanding Its Portfolio with Advanced Handheld Mapping](#)

#### FlytBase と Pix4D が提携し、ドローンデータ処理ワークフローを効率化 •

- [FlytBase and Pix4D Partner to Streamline Drone Data Processing Workflows](#)

#### RILOC-E®を搭載した RIEGL miniVUX-3UAV: 量産開始 •

- [RIEGL miniVUX-3UAV with RiLOC®-E: Series Production Started](#)

#### シーメンス、Großes Festspielhaus で初めてデジタルツインを使用して音響シミュレーションを実施 •

- [Siemens to use digital twin to simulate acoustics for the first time in the Großes Festspielhaus](#)

#### VertiGIS、Esri との多国籍パートナーシップを発表し、世界中の顧客へのサービスを強化

### VertiGIS Announces Multinational Partnership with Esri to Enhance Service for Global Customers

## GEO WEEK NEWS

### AEC Innovations Newsletter

## Esri と Autodesk : パートナーシップ拡大

### The Growing Partnership between Esri and Autodesk

Jack Dangermond 氏 (左) Esri の社長、

Andrew Anagnost 氏 (中央) Autodesk の社長

Adam Horn 氏 (右) Civil Integrated Solutions

両社は、2017 年に BIM と GIS のマッピング技術の間に橋渡しすることを発表した。2021 年に Esri は ArcGIS Pro に Revit のサポートを追加  
この技術的な統合は、両社間の高い信頼関係で成立。



## 建設業界でのロボット利用拡大 5 つの事例

### Five Examples Showing The Growing Usage of Robotics in Construction

地上ロボットと空中ロボットの両方が一般的になりつつあり、現在の AI ブームも、より多くの自律機能を最前線に押し上げるのに役立っている。  
 ・AI とロボティクスは建設業界に革命を起こし始めた?  
 ・建設現場の自動化: 無人地上車両によるレイアウト調査の完了  
 ・ポータブル 3D マッピングソリューションが提供する価値について専門家が語る  
 ・Trimble と Exyn Technologies、完全自律型ロボットソリューションの概念実証で協力  
 ・自律型ドローンは、スペインのインフラストラクチャを検査し、マッピング



## AEC 業界: インフラストラクチャ、生成 AI、サステナビリティ

### Around the AEC Industry: Infrastructure, Generative AI, Sustainability

統合、AI、そしてインフラストラクチャの次に来るもの

コネクテッドワールド

都市シミュレーションのための生成 AI

家庭のロケーション選択に生成 AI

デザインにおけるサステナビリティがスタンダードな手法になり得る理由



## AEC 業界からのニュース・

GPRS が AEC リアリティキャプチャサービスを拡大するために既存の条件を取得・

- [GPRS Acquires Existing Conditions to Expand AEC Reality Capture Services](#)

D5 Render、Vectorworks の LiveSync プラグインによるリアルタイムレンダリング機能を発表・

- [D5 Render Announces Real-Time Rendering Capabilities with LiveSync Plugin for Vectorworks](#)

新しい Leica DD300 CONNECT は、サイトの安全性を最適化するための高度なユーティリティ検出を提供・

- [New Leica DD300 CONNECT Offers Advanced Utilities Detection for Optimized Site Safety](#)

Geo Week と USGIF は、2025 年版に向けた戦略的パートナーシップを発表・

- [Geo Week and USGIF Announce Strategic Partnership for the 2025 Edition](#)

シーメンス、Großes Festspielhaus で初めてデジタルツインを使用して音響シミュレーションを実施

- [Siemens to use digital twin to simulate acoustics for the first time in the Großes Festspielhaus](#)
- ニコラス・クミンズが CEO に就任 Bentley Systems、新時代の到来を告げる。
- [Nicholas Cumins Takes Charge As CEO Of Bentley Systems, Ushering In A New Era](#)

新しい GS9000 マルチチャンネル GPR による地下イメージングのブレークスルー。

- [Breakthrough In Subsurface Imaging With New GS9000 Multichannel GPR](#)

Hexagon が Voyansi を買収し、BIM ソリューションポートフォリオを強化

[Hexagon Acquires Voyansi to Enhance Its BIM Solutions Portfolio](#)

## EVENT

### [GEO Week](#)

February 10-12, 2025

Denver, USA

### [Commercial UAV Expo](#)

September 3-5, 2024

Las Vegas, USA



## COMMERCIAL UAV NEWS

### 空域セキュリティとカウンターUAS

#### [Uncrewed Views Podcast: Airspace Security and Counter-UAS](#)

Commercial UAV News の編集アナリストである Scott Howe と Geo Week News の編集者である Carla Lauter が、Dedrone の最高マーケティング責任者兼政府業務責任者である Mary-Lou Smulders と対談。

パネルディスカッションでは、空域のセキュリティ、ドローンの検出、対 UAS などについて議論。

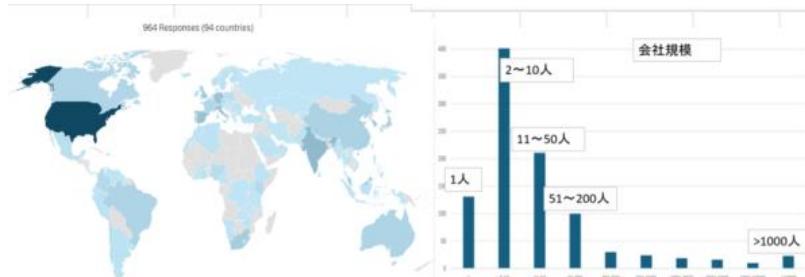


## Drone Industry in 2024 洞察

### [Drone Industry in 2024: Preliminary Insights](#)

最新のグローバルドローン業界調査では、世界中の 964 人のドローン業界の専門家から参加

## DRONE INDUSTRY INSIGHTS



会社規模は、小規模が圧倒的に多い、

## 規制(および施行)の違い 陸上輸送と航空輸送

### The Difference in Regulation (and Enforcement!) Between Ground and Aerial Transportation

近年、私たちの業界の誕生と並行して、別の新しくエキサイティングな交通手段も登場しました:電動スケートボードは、小さなハンドルバーを持ち、高速で運転できるようになりました。

まあ、彼らは人々が想像するよりも危険であることが判明しましたが、それでも彼らは規制されておらず、ドローンに使用される虫眼鏡で監視されています。

米国の連邦航空局(FAA)、ヨーロッパのEASA、および世界中の国家レベルの他のすべての民間航空当局が、航空災害の可能性を恐れているのを理解するのは難しいですが、陸上輸送の同等物は、発生している死亡者や負傷者の可能性について少しも心配していません。しかし、現実です。

(新しいツールが登場し、ルール作りは後追いになるのは、やむを得ないが、早急に策定する必要がある。…訳者)



## ダラス・フォートワースでのドローン配送

### Making Drone Delivery History at the Dallas-Fort Worth UTM Key Site

FAAは、同じダラス地域の空域で目視観測者なしでの商用ドローン飛行を承認したと発表した。ドローン配送のリーダーである Zipline International と Wing Aviation が「無人航空機システム・トラフィック・マネジメント(UTM)技術を使用してドローンを安全に分離しながら荷物を配達する」ことができるようになった。

<https://youtu.be/j-rSXIPqRw0>



## FAA : BVLOS ルール制定期限?

### FAA Says Will it Hit Deadlines for BVLOS Rulemaking

FAAは2024年末までに必要なBVLOS規則制定通知(NPRM)を発行する予定であり、「1月までに目視外線(BVLOS)の最終ルールを発行する予定のスケジュールに間に合うように順調に進んでいます」と述べた。長い間待っていたドローンオペレーターにとって、確かに前向きな進展です。しかし、過去のFAAの行動に基づくと、いくつかの懐疑的な見方が残っている。



## <商業 UAV 業界 最近のニュース>

NATSサービスとAltitude Angelは、「レーダーの下を飛ぶ」ことを過去のものにします

### NATS Services and Altitude Angel make 'flying under the radar' a thing of the past

FAAは、人々の上空を飛ぶための最初のカテゴリー2ドローンを承認します

### FAA Approves First Category 2 Drone for Flying Over People

AAM研究所とグラスホッパー・エアモビリティは、航空輸送の環境に優しい未来のために団結します

### AAM Institute and Grasshopper Air Mobility Unite for a Greener Future in Air Transport

グランドフォークス消防署は、目視線を越えた戦術的なUASオペレーションを承認しました

### Grand Forks Fire Department Approved for Tactical Beyond Visual Line of Sight UAS Operations

アーチャー・エアビエーションは、コビントンの大量生産施設の完成に近づいています。

### Archer Aviation Nears Completion Of Its High-Volume Manufacturing Facility In Covington, Georgia

ジョージア・タレスとガルーダ・エアロスペースがインドでの安全なドローン運用に関する覚書を締結

- *Thales and Garuda Aerospace sign MoU for secure drone operations in India*

クリサリオン・モビリティがドバイを拠点とするエア・シャトー・リリウムと予約注文

- *CRISALION Mobility lands pre-order with Dubai-based Air Chateau*

世界有数の空港運営会社であるグループ ADP と提携し、リリウムのインフラネットワークを拡大

- *Lilium partners with leading global airport operator Groupe ADP to expand infrastructure network for the Lilium Jet*

ジェット・ブルーフライト®が革新的な物流ドローンプラットフォームの欧州特許を取得

*tent for Revolutionary Logistics Drone Platform*



August 07, 2024



Association for Unmanned Vehicle Systems International

## DIU と NSIN:Blue UAS Refresh Challenge 推進

### DIU and NSIN Present: Blue UAS Refresh Challenge

Defense Innovation Unit(DIU)と National Security Innovation Network(NSIN)は、Blue UAS のプラットフォーム、コンポーネント、機能を特定するチャレンジを実施する。この課題では、一人称視点 (FPV)、グループ 1、グループ 2、グループ 3 のプラットフォーム、および無人航空機システム (UAS) のコンポーネント、機能、ソフトウェアについて検討する。

個々のコンポーネント、機能、ソフトウェアの提出を歓迎する。

2020 年および 2023 年の国防権限法(NDAA)および 2024 年の米国安全保障ドローン法に準拠する上記のカテゴリーの提出物は、評価の対象となる。

企業は、別々のエントリで複数の製品を提出することができ、特定の提案のために必要に応じて他の企業とチームを組むことができる。



対象分野の専門家チームが応募者を評価し、2024 年 11 月 4 日から 6 日までカリフォルニア州パームズ 29 の海兵隊航空地上戦闘センター(MCAGCC)で開催されるデモンストレーションイベントに参加するファイナリストとして企業を選出する。

## Archer の eVTOL 航空機工場がジョージアで実現

### Archer's eVTOL Aircraft Factory Takes Shape in Georgia | Aviation International News (ainonline.com)

このスタートアップは、4 人乗りのミッドナイト車両を毎年 650 台生産することを目指している。ジョージア州コビントンに計画されている 400,000 平方フィートの製造施設で進行中の建設作業の新しい画像を公開した。

<https://youtu.be/Ok5VXxTuCXg>



## WISPR システムで未来のマッピング

### Mapping the Future With WISPR Systems | AUVSI

ミシシッピ州ベイツビルに本社を置く WISPR Systems は、無人航空機システム(UAS)の製造を専門としており、測量とマッピングに重点を置いたエンタープライズおよび公共安全 UAS アプリケーション向けのターンキー商用ソリューションを提供している。

特殊な水深センサーは、ペイロードの重量が 6 ポンドで、UAV からぶら下がって水中を引きずり込むため、Ranger Pro と統合されています。このパートナーは、ラトビアの SPH エンジニアリングです。ソフトウェア面である UGCS と呼んでいる人も多いですが、SPH エンジニアリングはハードウェアも販売している親会社です。水深センサーは、基本的にソナー操作を実行するデュアル周波数エコーサウンダーです。また、レーダー高度計を使用して、トランステューサーを水中の正しい深さに維持します。

メタン検出は、一部のミッションにとって便利な機能ではなく、コンプライアンスの必需品です。また、業界ではメタン測定の需要が高まっている。

今年の残りの期間は、SkyScout といくつかの新しいペイロードの立ち上げ、そしてさらなるパートナーシップの形成に注力していく。



## <Streaming Soon: Dawn of Autonomy, Episode 32>

最近の戦略的合意を通じて、北米の Drones-as-a-Service の成長を加速させることを目指している Nokia と Flying Lion を取り上げる。



<記者コメント>

- 1) オリンピックに 3D 計測 大活躍! ここまで広範・高度利用始めて、
  - (1)セキュリティ対策・監視 テロ、妨害・違法ドローン排除
  - (2)報道ツール Cesium 利用など
  - (3)審判支援 3D レーザスキャナー  
当然、大阪万博では、さらに進んだ活用が行われるはず・・
- 2)オープン化、標準化：従来の”顧客の囲い込み戦略” 終焉か？  
競争の形 変革。 短期的・近視眼的戦略⇒没落へ
- 3)生成 AI の活用： 上辺の誘いに惑わされないように！ 本筋は何か？
- 4)Esri と Autodesk 強豪が連携 「寄らば大樹」か、独自路線か 難しい。
- 5)ドローン市場 弱小企業の集まり 生き残るために仲間を増やすしかないのでは？

2024-08-10 SPARJ 河村幸二